

第百回フォト句優秀作品（元年11月11日）



風の道今日は西から
お散歩か（進一郎）



白昼夢巨木の影に
悪魔の手（アキヤ）



枯葉踏む音に重なる

熊の鈴（浩平）

参道に老いの一徹
秋うららら（三春）



寸 評：

1) 風の道今日は西からお散歩か 長尾 進一郎

青空と曇天の対比。都会の空を前線が通過する絶好のシャッターチャンスをものにしたものだ。句は主語が不明瞭でいまひとつ推敲の余地があるが、写真の素晴らしさで最高点を獲得した。

2) 白昼夢巨木の影に悪魔の手 中村 晃也

人気のない新宿御苑で、巨木に出くわした。逆光だが思わず写真を撮った。非現実的な空想の世界を狙ったものとして句を作った。

3) 枯葉踏む音に重なる熊の鈴 大越 浩平

「熊に注意」の張り紙のある深秋の林の小道。一步ごとに枯葉がカサコソと音をたてる。静かな雰囲気の中で腰につけた熊除けの鈴が時折なるだけという情景に、落ち着いた俳句らしい句がついた。

4) 参道に老いの一徹秋うらら 三 春

お寺の参道をの落ち葉を大きな竹箒で掃いているのは、住職か、作男か、はたまたボランティアのお爺さんか？写真のシャッター音に驚いて顔を上げた。平和な秋の昼下がりである。

お題写真



寸評：大越さんの出題で七面鳥の大写し。票が分散し、合計30票のうち次の2句だけが3票はいり、他は2票どまりだった。

1) 感謝祭ちかづく前に**トンズラ**だ 長尾 進一郎

2) 怒っても顔色変えぬ**妻怖し** 下山 健夫

以下その他大勢（2点句）より抜粋

3) 大弱りこれでフォト句が詠めるかえ 矢澤 正二

4) 七面鳥摩訶般波羅蜜多心経 大越 浩平

5) 冬隣り鶏肉鍋で暖をとり 清水 勝

5) 「飛ぼう会」**駝鳥ペンギン勧誘中** 三 春